



優良事例自治体等調査について

調査の目的

地域全体で保育の質を向上する体制づくり

保育・幼児教施設単独での取組に依存することなく、自治体が中心となり養成校や関係団体等と連携し地域全体で保育の質を継続的に向上させる体制・仕組みの構築のため、先進的な取組や優良事例の調査を実施し、以降の施策展開や取組への反映を行うもの。

調査のポイント

実践的取組の把握

先進自治体が実際に行っている保育の質向上に向けた具体的な取組内容、実施体制、運営方法、成果と課題などを詳細に把握。

- ・ 現場視察
- ・ 資料収集

活用可能な仕組み

本市の実情に合わせて導入・活用できる仕組みや制度、研修プログラム、連携体制などの事例収集。

- ・ 実践事例
- ・ 制度設計

事業展開への反映

今後の本市施策の方向性や次年度以降の取組の展開、モデル事業終了後も持続可能なスキームの構築に向けた実践的知見の獲得。

- ・ 施策展開
- ・ 事業構築

調査の視点

本市における保育の質向上の推進体制の構築に向け、次の3つの視点から先進的な優良事例を調査する。

自治体の役割

保育の質向上において自治体が果たす役割や推進体制、施設への支援の仕組みを調査し、本市における実施可能性を検討する。

連携体制

行政、養成校、保育関係団体、保育・幼児教育施設等の役割分担や連携の仕組みを調査し、地域全体で保育の質を高める体制づくりの参考とする。

質向上に係る取組

公開保育や研修、人材育成など、保育の質向上につながる具体的な取組や、その取組を継続・発展させる仕組みを調査する。

調査の視点①：自治体の役割について

自治体が担う役割

調査を踏まえ、保育の質向上において自治体が担うべき具体的な役割の整理につなげる。

施設への指導・助言、研修機会の提供、財政的支援、人材育成支援情報提供など、行政として果たすべき機能を整理し、本市における実施可能性を検討する。

推進体制の構築方法

庁内の担当部署の体制、職員（職種）配置、専門職員の確保、予算措置、関係部局との連携体制など、実効性のある推進体制の構築方法を調査

行政主導のサポート体制

自治体が主導して保育・幼児教育施設をサポートする具体的な仕組み、巡回指導の方法、相談体制、補助制度などの把握

調査の視点②：連携体制について（行政・養成校・関係団体等）

関係機関との連携体制

保育の質向上に向け、行政、養成校、保育関係団体、保育・幼児教育施設等が、それぞれどのような役割を担い、連携しているかを調査する。各主体の役割分担や情報共有の仕組み、協議体の運営方法などを把握し、本市における連携体制の構築につなげる。

地域全体で保育の質を高める仕組み

施設単位ではなく、地域全体で保育の質向上を推進するための仕組みを調査する。公開保育、共同研修、保育者同士の学び合いの場、ネットワーク形成など、継続的な実践につながる取組を把握する。

連携による人材育成・学びの仕組み

養成校や関係団体等との連携による人材育成の取組を調査する。現職研修、実習、公開保育、研究活動等を通じて、保育者が継続的に学び、成長できる仕組みを把握し、本市における展開の可能性を検討する。

調査の視点③：質向上に係る取組について

実践を通じた学び合いの取組

保育者同士が実践を通じて学び合い、保育の質向上につなげる各種取組を調査する。実践を共有し学びを深める工夫や、その成果を各施設へ還元する仕組みなどを把握する。

研修・人材育成の取組

保育者の専門性向上を目的とした研修体系や人材育成の取組を調査する。経験年数や職種に応じた研修、継続的な学びを支える仕組み、研修成果を実践へつなげる工夫などを把握する。

保育の質向上を継続する仕組み

保育の質向上の取組が一過性で終わらず、継続的に実践されるための仕組みを調査する。取組の評価・検証方法や、実践事例の共有、保育者同士が継続して学び合う仕組みなどを把握し、本市への活用可能性を検討する。

想定する調査先

自治体等

- 保育の質向上に関する独自の推進体制を構築
- 保育専門職による巡回支援を実施
- 保育者同士の学び合いの体制を構築
- 養成校・関係団体等との連携体制を構築
- 保育の質向上に関する計画や指針を策定
- 保育の質に関する評価・検証を継続的に実施
- 保育施設間のネットワーク形成を支援
- 保育者のキャリア形成や専門性向上を支援
- 保育の質向上に関する専門部署や職員を配置

養成校

- 地域の保育施設と連携した人材育成
- 現職保育者向け研修や公開講座等の実施
- 保育実践研究や現場の取組に積極的に関与
- 自治体との共同研究やモデル事業の実績
- 保育・幼児教育現場との共同研究を実施
- 卒業後の現職保育者への支援
- 保育者のリカレント教育を実施
- 保育に関する研究センターや附属機関の設置
- 学生・現職保育者・研究者の交流

保育・幼児教育施設 (関連団体含む)

- 公開保育や園内研修を継続的に実施
- 保育者同士の学び合いを推進
- 保育の質向上に関する先進的な実践事例
- 関係団体等が主体となった研修体制
- 地域内の各施設によるネットワーク構築
- 保育の質向上に関する研究実践
- 若手保育者の育成プログラムの整備
- メンター制度やOJTの体系化・整備
- 保育団体が主体となった実践交流や研究活動

調査結果の活用計画

本市モデル事業への反映

優良事例調査で得られた知見を、保育サポートコーディネーターによる施設巡回、公開保育、ワークショップ等の取組に反映し、モデル事業の内容の充実を図る。また、本市の実情に応じた実施方法や運営手法の検討につなげる。

次年度以降の事業展開

調査結果を踏まえ、本市における保育の質向上に向けた取組の方向性や実施内容を整理し、次年度以降の事業展開に反映する。また、効果的な事業手法や新たな取組について検討を行う。

持続可能な施策・体制の検討

モデル事業終了後を見据え、地域全体で保育の質向上を継続的に推進できる施策や体制について検討する。自治体、養成校、関係団体及び保育・幼児教育施設との連携の在り方や、それぞれの役割を整理し、本市に適した持続可能な推進体制の構築につなげる。